

農場のバラが見ごろを迎えました。今回はHP上で楽しんで下さい。

バラの歴史

バラは西洋的な花のイメージが強いですが、北半球（特にアジア）に多数の野生種が自生します。日本原産の「ノイバラ」「テリハノイバラ」、中国原産の「コウシンバラ」も園芸品種の育成に大きく関わっています。

⇒ 2, 3年生は、教科書「草花」p. 62 ‘バラの育種の変遷’も参照して下さい。



園芸科学科 門近くのバラ



バラ園入り口のアーチ



サハラ'98



ピエール・ド・ロンサール



クロード・モネ



クィーン・オブ・スウェーデン



ノイバラ 日本原産

園芸品種に房咲き性をもたらしした原種。強健で、接ぎ木の際は、台木としても使用します。道路沿いのフェンスで、たくさんの花を咲かせています。

ハイブリッドティー系統（HT）

「ハイブリッド・パーペチュアル系」と中国の「ティーローズ」を交配させて生まれた大輪四季咲きバラ。世界初のハイブリッドティーは、1867年にフランスで作られた‘ラ・フランス’で、これ以降に作出されたバラの系統は、「現代バラ」「モダン・ローズ」などと呼ばれます。



シャルル・ド・ゴール



ブルー・ムーン

フロリバンダ系統（F）

「ハイブリッドティー系」と「ポリアンサ系」を交配させて生まれた中輪四季咲きバラ。「フロリバンダ」とは「花束」の意味で、房咲きの性質を持ちます。



アイスパーク



ガブリエル （まだ株が小さいです。）



ストロベリーアイス



ボレロ

鉢植えのバラも開花しています。



学校再開後は、剪定・繁殖などの実習を行っていきます。
秋の開花は、学校で見られますように！！